学校番号	３０１７

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（１１６日文）美Ⅰ　３０５						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎の確認と課題制作をするとともに、相互鑑賞をおこないます。日本・西洋の美術史の流れや、美術作品の鑑賞の仕方についても学習します。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を相互鑑賞で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し､そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 発表の様子	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発表の内容 レポート

上に示す観点に基づいて、a：25%、 b・c・d：75%の割合で評価し、５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術っていろいろ	【鑑賞】【絵画・彫刻】 【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	ワークシート 活動の様子
	表し方いろいろ	【絵画・彫刻】 【デザイン】 ・造形練習 描画材の特徴、色彩の基礎、紙の種類、基本用具の扱い方。	○		○		a:描画材の種類や扱い方の違いによる表現効果に関心を持ち、積極的に試そうとしている。色彩について感心を持ち、今後の表現に生かそうとしている。 c:表現に適した鉛筆の削り方、持ち方を理解して、濃淡の差などを表している。アクリル絵の具、水彩絵の具の扱いや表現効果の違いを理解している。モダンテクニックの特徴を生かし、画面に効果的に表している。	ワークシート 活動の様子 練習作品
		・モダンテクニック絵本 様々な技法で表した紙を製本して一冊の絵本にする。		○	○	○	b:様々な技法による色や形、偶然の模様などがどんなイメージにつながるかを考えようとしている。 c:それぞれの技法の特徴、色、形に合わせてストーリーなどを考えたり表現を追加したりして製本している。 d:他の作者の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	葉のかたちから	【鑑賞】【デザイン】 ・数種類の葉のスケッチ ・平面構成 アイデアスケッチ:葉の形をもとに画面を分割構成 配色の計画:1/2 サイズの試作 パネル水張り:水張りの目的と方法を理解する 着彩:モダンテクニックを取り入れ着彩する。	○	○	○	○	a:身近なものの形をもとにし画面を構成することに関心を持ち、形や配色を考え表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて構成を練っている。 c:使う形の要素を生かして面の大きさや線の重なりにより構成し、アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して条件や計画を基に表現している。 d:自作品の制作意図を伝えたり、他の作品の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作者にコメントを伝えている	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子 発表の様子 相互鑑賞ワークシート

	美術の流れ(前)	【鑑賞】 ・人物や作品、時代様式など１人１テーマについて調べる ・原稿にまとめ、資料として印刷・配布 ・発表	○			○	a: 西洋・東洋の美術の流れに関心を持ち、調べたことをわかりやすく伝えようとしている。 d:工夫して発表したり、理解しようと聞いたりして、多様な美術の分野があることに理解を深めている。	作成資料 活動の様子 発表 ワークシート
後期	私の〇〇風景	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・木版画　　一版一色刷り 手彩色 下絵（風景写真を自身で撮ったものから） 転写・彫り 刷り（３種の刷り紙） 手彩色（裏・表・両面など） 額装（木彫可・着色可） 相互鑑賞	○	○	○	○	a: 版による表現に関心を持ち、木版（黒刷り手彩色）で表現することに興味を持って取り組もうとしている。 b: 条件から、画面構成を考え、制作の見通しをたてている。 c: 黒の配分をいかした画面の構成、彫刻刀の使い分けや彫る方向による効果、刷りによるインクの濃淡、手彩色の配色、絵の具の濃淡など、計画を基に工夫して表現している。 d: 自他の作品の良さ、美しさ、工夫などを伝えあい、作品について理解を深めている。	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 アイデアスケッチ 下絵、制作途中の作品 試し刷り作品、 制作途中の作品 作品 相互鑑賞ワークシート
	美術のながれ(後)	【鑑賞】 ・人物や作品、時代様式など１人１テーマについて調べる ・原稿にまとめ、資料として印刷・配布 ・発表する	○			○	a: 西洋・東洋の美術の流れに関心を持ち、調べたことをわかりやすく伝えようとしている。 d: 工夫して発表したり、理解しようと聞いたりして、多様な美術の分野があることに理解を深めている。	作成資料、 活動の様子 発表 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。